

丹波市オーガニックビレッジ宣言

～美しいふるさとを100年後にも引き継ぐために～



丹波市は、本州一低い中央分水界と山々に囲まれた自然地形を有し、日本海と瀬戸内海につながる清らかな水が湧き出ます。丹波市を南北に縦断する低地帯「氷上回廊」^{ひかみかいろう}と山々が織りなす特徴的な地形は、豊かな自然や文化、歴史を育んできました。

1975年、消費者の要望から始まった丹波市の有機農業の取組は、消費者と生産者の理解の浸透とともに広がりを見せ、人と自然が調和しながら、地域に引き継がれてきました。

現在、丹波市では有機農業を実践的に学ぶことができる「農の学校」^{みのり}や、地域資源を農業に取り入れる循環型農業の推進など、豊かな里山の暮らしを、未来の子どもたちに引き継いでいく取組に力を入れています。

これからも、生産者だけでなく広く市民や企業がそれぞれの立場で参画し、手を取り合いながら大切な地域資源を守り、さらに未来に繋いでいくまちづくりを目指し、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和5年3月31日

丹波市長

林 時彦